

登場人物紹介

若手編集者
ミズタニ

入社2年目のヤングマガジン編集部員。日頃からボンクラで、クルマの知識が無いせに『MFゴースト』の片桐夏向に憧れている。



クルマライター
アンドー

自動車メディア業界で暗躍するフリーの編集ライター。風貌も発言もうさんくさいが、クルマに関する知識やクルマへの愛は本物。



20万部突破!!
『MFゴースト』
しげの秀一
累計5000万部「頭文字D」の系譜を継ぐ、新公道最速伝説。ポルシェやランボルギーニが参戦する公道レース「MFG」に片桐夏向の86が挑む。
第1巻絶賛発売中!!

モテたいなあ...

『MFゴースト』応援企画!!
クルマの知識もモテる技術(?)も
マスターできる特別企画がスタート!!

公道最モテ伝説

MF GHOST

に行ってきました!



第2回
ミズタニ、カスタムカーの祭典に学ぶ!
とにかく女にモテたい
若手編集部員ミズタニ。
これは、時代の波に
乗れない彼がクルマを
乗りこなすまでを
描いた物語である――。

「前回までのあらすじ」片桐夏向を目指しているくせに、AT限定免許であることがバレたミズタニ。「MT車を操ればモテる!」とアンドーから聞くやいなや、さっそくMT免許を取るようになった――。

アンドー(以下、アン) いやーミズタニ選手! そろそろMT免許は取れたかい?

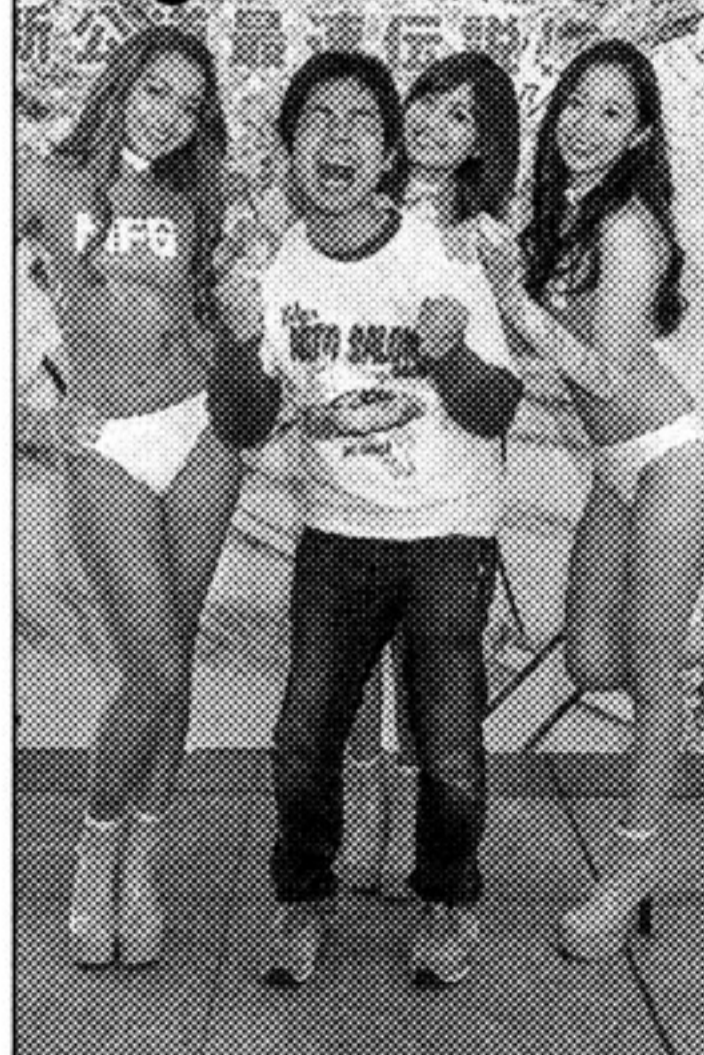
ミズタニ(以下、ミズ) アンドー師匠! それがその...一発試験に臨もうとしたんですが、当日風邪引いちゃいました。

アンなんて持ってないヤツ!
ミズ ヒドいなあ。ボクだって早く

MT車に乗りたいうすよ!
アン そもそもAT限定解除は一発試験で成功するヤツなどほぼいない。地道に教習所に通うべきだ!
ミズ えく!? めんど...わかりましたよ。来月から通います。
アン そのかわり、今度キミをクルマの楽園へ案内してあげようじゃないか。むふふ。

★ ★ ★
(某日、千葉県の幕張メッセにて)
ミズ ...ってここ、東京オートサロンの会場じゃないですか!
アン なんだ知ってるのか?
ミズ 押忍! そりゃヤングマガ編集部も『MFゴースト』のブースを出展してますから!
アン そうか。けど初めて来たんだろ? オートサロン童貞なんだろ

生きててよかったーッ!



『MFゴースト』アースにて
MFGエンジェルのエリカちゃん、林ゆめちゃん、農海姫夏ちゃんらにボディタッチされ、勘違いするスチャラカ編集のミズタニ。



初めて間近で見る
チューニングカーにビックリ!

会場内にはこんな風にタイヤが八の字に開かれているクルマもゴロゴロ置かれている。角度の激し過ぎるものは「鬼キャン」と呼ばれる!

う? そんな童貞クンに、クルマにも女にも様々なタイプがあることを教えてやろうじゃないか。
ミズ わかりました押忍!
アン なんとこれもこのイベントはカスタムカー(改造車)の祭典だ。正統派で高級感漂う東京モーターショーと違い、国内8大メーカーから地方の改造ショップまで、幅広く

多角的な出展ブースが見られる。

ミス なるほど!

アン その結果、毎回超満員になることもあって、小道に入り込むとアジアの雑踏に迷い込んだかのような、グローバルな雰囲気味わうことができるのだ。

ミス たしかに!

アン もちろん展示車だつてすごい! 数千万円する高級輸入車はもちろん、公道を走るとお巡りさんに怒られそうなトンがった改造車だつてある。ジャンルもさまざまで、スポーツカーからミニバン、SUVと、ここではこの世のあらゆるクルマ



美女美女地獄じゃー!

おしとやかなタイプからギャルっぽい雰囲気までコンパニオンもバラエティに富んでいる。露出多めの女性の前でアホと化したミズタニ。



おねいさんがあまりにも可愛いので、調子に乗りすぎてキモがられるミズタニ。クルマはフォルクスワーゲン・パスのレストア版。



見よ、このフロントバンパー! 車検は通らないと思われるが、こんなクルマに乗ってれば、地元じゃ英雄になれるだろう。

マを見ることができると!

ミス はうあッ! 世の中にはこんないろいろなクルマがあつたんですね。自分がマイクロな存在だと気付かされました!

アン そうだろう。この会場にいるだけで、理解や思想を超えた、クルマに対するポジティブな感情が芽生えてくるというものだ。

ミス それはそうと師匠! どうもクルマのそばに美女たちがセットで付いているようなんですが……

アン うむ、よく気付いたな。あれ

名車トヨタ2000GTを発見! このような正統派のクラシックカーもひょっこりと展示されているから、オートサロンは面白い。

クラシックカーも! ワンボックスも!

キャンピングカー仕様にカスタマイズされたワンボックス車。「僕、これなら住めますね!」という四畳半男・ミズタニ。



東京オートサロン



がコンパニオンというやつだ。オレくらいベテランになるとクルマだけ置いてあつても取材する気にならないが、美女が横に立ってるだけで、やる気と股間がイキリ立ってくるというもの!

ミス アホですね……いえ、その気持ちわかります。ぼくも突撃(取材)したくなってきました! お、おねーさん! おお、手を振り返してますよ。手応えありッ!

アン ねーよッ! いいかミズタニ選手、彼女たちはお客にスマイルをふりまくことが仕事なのだ。それは相手が、いかがわしい職業ランキン

チューニングのすべてがここにある!



カスタマイズ=改造といっても、ドレスアップ派とチューニング派に分かれる。「MFゴースト」読者なら気になるであろうこれらチューニングパーツも、会場内には一日では見きれないくらい展示されている。

スーパースポーツカー だってありました!



トヨタのスポーツブランド「GAZOO Racing」により本邦初公開されたコンセプトカー「GRスーパースポーツコンセプト」!

集者であつてもだ。ここでは美女たちの表情の裏側を学ぶのだ。そして日頃の彼女作りに活かせ!

ミス ……な、なるほど。深いっすね。さまざまなクルマを知り、美女の本音まで学べるとは。お母さん、僕もこんなに立派な男になりましたと手紙を書きたくなります! けど師匠、美女の身体つきを、もとい、クルマのスタイリングを眺めていられるだけでもここは最高の場所っす!

今回の格言

クルマにも女子にも様々なタイプがあることを知るべし!

大盛況のうちに幕を閉じた東京オートサロンで、見たことないくらい多くのクルマ(と女子の肢体)を見まわることができたミズタニ。クルマと女子への見識を広げたところで、次回こそAT限定解除に挑むのか!? つづく(予定)。



屋外特設ステージでは、「見せる」ドリフトを競技化した「G1グランプリ」のデモランも行われ、大量のギャラリーを集めた。まるでクルマが踊っているかのようだ!